

# 継続こそ力 部会活動④

## 東部地区管理部会

# 情報交換の拠点に成長 コンプライアンスを推進

取引員企業における社内管理の重要性が高まる中、東部地区商品取引員管理部会は、これまで6年間の活動によって、公正な受託業務遂行のための業界の情報交換の拠点に成長している。トラブル・苦情の予防と適切な対応に努めつつ、内に対してはコンプライアンスの重視を推進していく。

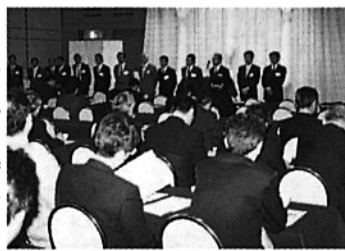


二又規矩夫  
前代表幹事

### 六十二社で発足

平成元年、受託契約準則の大幅な改正が実施され、農水グループ・通産グループ別に委託証拠金などの管理が行われるようになり、これに伴い約諾書、売買報告書・計算書、残高照合通

知書などの様式が変更され、契約前に顧客に交付する「商品先物取引—委託のガイド」も新たに作られた。この改正を進めるに当たり、(社)全国商品取引所連合会は、東部地区商品取引員管理部研究会(代表幹事 長島敏彦北辰商品管理部長 十四社)から実務上の観点からの意見を聞いたが、より多くの取引員を参加させようと全国商品取引員協会連合会等の呼び掛けで、東部地区に本支店を持つ取引員を糾合した管理部会の組織化の話が持ち上がった。



東部地区商品取引員管理部研究会  
発足式の様子(左から)二又規矩夫、長島敏彦、北辰商品管理部長、  
代表幹事、アルフィックス、梶見悟取締役管理部長、  
平成九年には、管理部会が働きかけて、「先物取引弁護士グループ研究会」(会長 浅井洋弁護士)ができた。メンバーは現在、十四人で、いずれも取引員の顧問弁護士をしている。平成十二年までは幹事会に同席していたが、その後は時間の制約があるため、同日に別の部屋でそれぞれ研究・勉強会を開き、必要に応じて往来して情報交換している。

しかし、当時はその機運が十分に高まらず、その後平成三年に自主規制団体として(社)日本商品取引員協会が設立されたことにより、管理機能の重要性に対する認識が高まり、これを受け、日本ユニコム(二又規矩夫管理部長)が発起人となり呼び掛けたところ、六十二社が参加して「東部地区商品取引員管理部会」が発足した。現在の会員数は七十社。東京に本・支店のある社は全社が加入している。

### 毎月一回、幹事会

部会運営の要は毎月開く幹事会(十五社の管理部責任者で構成)。苦情についての情報交換、商品先物取引関係訴訟についての判例研究、主務省、取引所への対応、コンプライアンスの

勉強などを続けている。春と秋に総会を開くほか、必要に応じて全会員を招集する。八月には二泊三日の合同合宿研修会を開く。管理部会は、この東部地区のほか、中部地区管理部会(代表幹事 米常商事 山茂次管理部長)、商品取引員管理者部会(大阪地区、代表幹事 アルフィックス 梶見悟取締役管理部長)があり、各種情報交換は相互に行っている。

### さらに努力続ける

六年間代表幹事を務めた、この四月に交替した二又さんは、「他の部会は、あれもした、これもやったと胸を張れるが、管理部会はある面で裏方に徹する必要がある」と言いつつ、横の連絡を保つことによって業界を支えることができたという。二代目の新代表幹事になったフジフューチャーズの大井康弘管理部執行役員は、「前代表幹事の業績を引き継いで、信頼性の向上

### 被害研究会の講演も

この取引員側の弁護士に

### ◆新社長◆

#### 日本ユニコムは内海氏

日本ユニコムは四月十九日の取締役会で内海健副社長の代表取締役社長就任を内定した。六月末の株主総会後に正式に決まる。経営陣の活性化で業績の向上と経営の効率化を図るのが交代理由。齋藤絃輔社長は退任する。

#### 内海 健氏(うちうみ たけし)昭和十六年北海道生まれ。三十八年名古屋山田簿記専門学校卒。平成二年総合企画室長。九年常務、十一年専務、十二年取締役副社長。六十一歳。



内海 健氏(うちうみ たけし)昭和十六年北海道生まれ。三十八年名古屋山田簿記専門学校卒。平成二年総合企画室長。九年常務、十一年専務、十二年取締役副社長。六十一歳。

をテーマに、コンプライアンスの勉強も進めて、一歩でも前進



大井康弘  
代表幹事  
でも二歩でも前進

して部会として業界に貢献したい。また、「社によって管理部門の差が目立ってきているので、力不足の社を側面から応援したい」と意欲をみせている。発足当初から副代表幹事を務めて



三木武  
副代表幹事  
きた豊商

は、「何かあったら管理部会に聞いてみようという形に業界がなってきた。六年やってきた成果だろう」と手応えを感じている。石動和裕副代表幹事(三貴商事 貴商事管理サービ



石動和裕  
副代表幹事  
は、「紛議

止、コンプライアンスの推進に力を入れる」と気を引き締めている。

同社入社。五十七年取締役、平成五年専務。五十五歳。

#### アイコムは前田氏

アイコムは四月十五日付で不動産会社を経営する前田謙治氏が社長に、元同社社長の前川恭幸氏が代表取締役会長に就任した。前社長の米津広助氏は退任する。経営陣を刷新、経営を立て直すのがねらい。

#### 前田 謙治(まへだ けんじ)昭和三十三年福岡県生まれ。五十四年福岡大学商学部中退。五十七年三愛建物入社、平成十年岐山代表取締役就任。四十五歳。



十二年福岡県生まれ。五十四年福岡大学商学部中退。五十七年三愛建物入社、平成十年岐山代表取締役就任。四十五歳。

### 日本アイビツクに

#### チュウオーが社名変更

チュウオー(株)は設立四十周年を機に社名を(株)日本アイビツクに改めると同時に本社を東京(旧東京支店)に移転した。四月一日実施。新社名について同社では「Imaging Being Ideal Company(私たちはイメージします。理想の会社であり続けること。I B I C)頭文字をとって、新しい時代を乗り越えていきたい」と話している。